



保育・教育の質の向上を求めて

幼児教育アドバイザー訪問事業 活用の手引き



やまなし幼児教育センター

令和6年4月

目 次

1 「幼児教育アドバイザー訪問事業」とは	・・・・・・・・・・ 1
2 訪問までの流れ	・・・・・・・・・・ 2
3 訪問の実際	・・・・・・・・・・ 3
4 訪問依頼書・記入例（様式1）	・・・・・・・・・・ 5
5 訪問実施報告書・記入例（様式2）	・・・・・・・・・・ 7
6 「幼児教育アドバイザー訪問事業」実施要項	・・・・・・・・・・ 9



1

「幼児教育アドバイザー訪問事業」とは

山梨県教育委員会が委嘱した幼児教育アドバイザーが、園・所（認可外を含む）などからの依頼に応じて訪問し、園内研修などを行って課題を一緒に考え、より良い保育・教育を目指す先生方の学びを支援する事業です。



幼児教育アドバイザーって
どんな人？

幼児教育アドバイザーは、乳幼児期の保育及び教育、福祉に関する専門的な知見や豊富な経験をもつ山梨大学、山梨県立大学、都留文科大学、山梨学院短期大学など、県内大学の教授をはじめとする先生方です。

また、依頼内容によっては、その他の関係機関の職員が、幼児教育アドバイザーとして訪問することもあります。

幼児教育アドバイザーの
役割は？

【役割①】 園内研修のサポート、テーマに基づいた保育参観とアドバイス
実際の保育の様子を参観し、テーマに沿ってアドバイスします。

【役割②】 市町村などの研修会・研究会での指導・助言
園・所等の課題や研修・研究テーマについて、一緒に考えたりアドバイスしたりします。

訪問の対象はどこ？

・ 公立私立の幼稚園・保育所・認定こども園、市町村教育委員会、市町村、
幼児教育・保育関係団体が主催する研修会



例えば、
どんな研修テーマがある？

- ・ 乳幼児の姿の見取り方
- ・ 保護者への対応の仕方
- ・ 保育記録の取り方、活用法
- ・ 一人一人に応じた援助
- ・ 気になる子どもへのかかわり方
- ・ 室内遊びの環境構成、遊具の使い方
- ・ 小学校との連携・接続
- ・ 楽しい保育実技（身体表現など）
- ・ 指導計画の構想
- 等々

費用や準備は必要？

・ 費用は県教委が負担するので、依頼した園・所の負担はなく、**無料**です。
また、特に必要な準備等はありませんが、研修会などの訪問内容によっては資料や機器の準備をお願いすることがあります。

2

幼児教育アドバイザー訪問までの流れ

1 相談・研修内容を決める

○日々の保育・教育の中で困っていることや解決したい課題を相談・研修項目として、以下の中から1～2項目程度に絞ってください。

<相談・研修項目>

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ① 子ども理解・子どもの姿の見取り方 | ② 教育・保育の内容 |
| ③ 保育者の関わり方 | ④ 環境構成 |
| ⑤ 保育記録の取り方・活用の仕方 | ⑥ 指導計画等の構想 |
| ⑦ 小学校との連携・接続 | ⑧ 配慮を必要とする子どもへの支援 |
| ⑨ その他（研究会支援など） | |



2 訪問日時、場所・会場を決める

○訪問日時：午前9時から午後4時の間のできるだけ多くの保育者が参加できる日程を計画してください。
・同一園・所で、1年に3回まで訪問を希望することができます。その場合は、効果的な訪問時期になるよう1か月～数か月の間隔をあけて計画してください。

○所要時間：1回2時間～6時間で計画してください。（昼食休憩は1時間）
・半日研修（2～3時間）：《例》保育観察+助言、講義、助言、相談 等
・一日研修（4～6時間）：《例》保育観察+協議・グループ別協議 等

○会 場：参加者が集まって研修ができる会場を園・所内に設定してください。

3 訪問依頼書(P5)を提出する

○訪問依頼書を訪問希望日の3週間前を目安にメールかFAXで、ご提出ください。

4 訪問内容について打ち合わせる

園・所の状況や参加する職員の人数やキャリア、グループ演習等研修会の進行方法についてもお知らせください。

○園・所の希望に沿ったアドバイザーを派遣できるよう、訪問依頼書に基づいて具体的な相談・研修内容や当日の流れについて、幼児教育センターの担当者と打合わせを行います。

○訪問する幼児教育アドバイザー及び日程が決まり次第、幼児教育センターから正式文書をメールで送ります。

5 幼児教育アドバイザー訪問実施

○幼児教育アドバイザーが訪問し、保育観察や話し合いを通して共に考えたりアドバイスしたりします。

3 訪問依頼書と 6 実施報告書は、
やまなし幼児教育センターHP からダウンロードもできます。

6 実施報告書(P7)を提出する

○実施報告書を訪問終了後 1週間以内にメールかFAXで、ご提出ください。
○年度末にメールで配信されるアンケートへ回答してください。



3

幼児教育アドバイザー訪問の実際

訪問事例Ⅰ

【幼稚園・保育所への訪問】

保育参観



カンファレンス

【訪問のねらいと内容】

<ねらい> 配慮が必要な年少児2名を対象に、個に応じた支援について考える。
 <内容> 自由遊びや縦割りの活動等を参観。
 その後、対象児の様子から留意することや保育現場での工夫について協議・アドバイスした。

【当日の流れ】<3時間>

13:00 日程及び内容の確認
 13:15 保育参観
 14:30 振り返り・カンファレンス
 16:00 終了

配慮が必要な幼児へのかかわり方

【協議・助言の概要】

<意見交換> 保育参観で気づいた対象児2名の良さや課題、今後の指導について
 <助言> ・少人数の活動を取り入れることについて
 ・幼児が自分の気持ちを表現できるようにするための表出言語獲得の方法について

【活用後の園・所の感想】

子どもの行動をどう理解し、援助したらよいかについて具体的にアドバイスをいただき、大変参考になりました。
 また、専門機関への連携についても相談ができ、とても有意義な時間になりました。

訪問事例Ⅱ

【認定こども園への訪問】

保育参観



カンファレンス

【訪問のねらいと内容】

<ねらい> 園児の年齢(発達)に応じた保育者のかかわり方、特に言葉かけ、子供主体の保育について振り返り、確認する。
 <内容> 午前の保育、昼食等の活動を参観。
 その後、保育を振り返り、留意点や改善点等について協議・助言した。

【当日の流れ】<5時間>

10:00 日程及び内容の確認
 10:20 保育参観(室内・屋外遊び)
 12:00 昼食・休憩
 13:00 振り返り・カンファレンス
 15:00 終了

3歳未満児へのかかわり方

【協議・助言の概要】

<意見交換> 子どもの思いや遊びへの意欲を尊重した保育者の関わり方について
 <助言> ・写真や動画を活用した振り返りについて
 ・子どもの表現する権利を尊重し、そのらしさを生かす保育について
 ・園内研修の進め方や工夫について

【活用後の園・所の感想】

日々の保育の振り返りの大切さについて丁寧にご指導いただき、大変勉強になりました。保育者の考えを押し付けるのではなく、子どもの表現する権利を尊重して、子どもの気持ちに寄り添った活動を考えていきたいです。来年度も保育者の関わり方についてアドバイスをいただけたらありがたいです。

訪問事例Ⅲ

【保育実技の研修支援】

模範指導



講義



研究協議

【訪問のねらいと内容】

<ねらい> 年齢に応じた身体表現とその指導法について実技と理論の両面から研修する。
<内容> アドバイザーが直接表現活動を指導し、その観察から表現遊びの指導法を学んだ。その後、身体表現活動の指導法等について講義・協議や助言を行った。

【当日の流れ】 <5時間>

10:30 日程及び内容の確認
10:40 身体表現指導(年少・年中)
12:00 昼食・休憩
13:00 身体表現指導(年長)
14:00 講義・助言・研究協議
15:30 終了

園内研修への支援

【講義・助言の概要】

<講義> 子どもたちがイメージをもって自由に表現する運動遊びの技法について
<助言> ・保育者が環境の一部として、受容と共感の意識で子どもたちの自由な表現を受け止めることの重要性について
・10月に実施予定の運動会での表現活動について

【活用後の園・所の感想】

指導を通して、一人一人の子どもの目が輝き、楽しく表現遊びをする姿を見ることができました。
また、様々な体育用具の種類や活用方法を知り、実際の子どもへの指導方法を学ぶことができました。保育者の関わり方や言葉かけによって表現の幅が広がる技法に触れることができ、深い学びになりました。

訪問事例Ⅳ

【保育者の研究支援】

講義



研究協議

【訪問のねらいと内容】

<ねらい> 研究大会での研究発表に向けて、実践研究の方法や内容等について研修する。
<内容> 保育の実践研究の留意点と具体的な手法について講義した。その後、研究テーマについて意見交換を行い、研究の方向性を協議した。

【当日の流れ】 <2時間>

14:00 講義
14:40 意見交換・研究協議
16:00 終了

研究会への支援

【協議・助言の概要】

<講義> 「実践を研究する」と題し、研究とは何か、調査と研究の違い、研究事例について
<助言> ・「日常の実践の向上に結び付く研究」にするために留意することについて
・地域の課題を洗い出し、研究テーマにつなげる研究内容・研究方法について

【活用後の感想】

研究テーマに沿って課題を探る方法など、順に説明していただき勉強になりました。
特にワークショップでは、意見を付箋に書くことで自分自身で考察できたり他園を含めた地域の状況を共有できたりするなど、研究の方向性が見えてきて、今後につながる学びになりました。

やまなし幼児教育センター 宛

電話 055-220-8143 Fax 055-220-8145
E-mail nagata-yvdh@pref.yamanashi.lg.jp

※やまなし幼児教育センター記入欄			
受付番号		決定連絡日	
		決定連絡者	

幼児教育アドバイザー訪問依頼書

1 申請者

園・所 設置区分 (〇をしてください。)	国公立	施設区分 (〇をしてください。)	幼稚園 (幼稚園型認定こども園を含む。)		
			保育所 (保育所型認定こども園を含む。)		
			幼保連携型認定こども園		
	私立		地域型保育事業所		
			認可外保育施設		
			特別支援学校幼稚部		
ふりがな				ふりがな	
園・所名				代表者名	
住所	〒			電話番号	
				Fax番号	
				E-mail	
園児実員	0歳児 () 人	1歳児 () 人	2歳児 () 人	依頼回数	今回の依頼 () 回目
	3歳児 () 人	4歳児 () 人	5歳児 () 人		

2 訪問希望内容

(1) 相談内容等

相談項目	空欄に〇を付け、必要事項をご記入ください。	
	<input type="checkbox"/>	①子ども理解・子どもの姿の見取り方
	<input type="checkbox"/>	②教育・保育の内容
	<input type="checkbox"/>	③保育者の関わり方 (子ども主体の保育など)
	<input type="checkbox"/>	④環境構成
	<input type="checkbox"/>	⑤保育記録の取り方・活用の仕方、ドキュメンテーションの作成
	<input type="checkbox"/>	⑥指導計画等の構想、アセスメント
	<input type="checkbox"/>	⑦小学校との連携・接続
	<input type="checkbox"/>	⑧配慮を必要とする子どもへの支援
	<input type="checkbox"/>	その他 ()
★上記の〇の項目について、自園・所の実態を踏まえて内容を詳しくご記入ください。		★希望する当日の流れをご記入ください。
	時間	内容 (打合せ・保育参観・振り返り等)

(2) 訪問希望日時

第1希望	月 日 ()	第2希望	月 日 ()	第3希望	月 日 ()
	時 分 ~ 時 分		時 分 ~ 時 分		時 分 ~ 時 分

注 祝日を除く月曜日から金曜日の午前9時から午後4時の間において、希望の日時で調整します。
当日の打合せや振り返り、個別の相談等を希望する場合は、その時間を含めて記入してください。
(この時間帯で収まらない場合は、相談してください。)

※ 幼児教育アドバイザー訪問終了後、実施報告書 (様式2) を1週間以内にご提出ください。

やまなし幼児教育センター 宛

電話 055-220-8143 Fax 055-220-8145

E-mail nagata-yvdh@pref.yamanashi.lg.jp

幼児教育アドバイザー訪問実施報告書

幼児教育アドバイザー訪問につきまして、終了したことを報告します。

園・所 設置区分 (〇をしてください。)	国公立	施設区分 (〇をしてください。)	幼稚園 (幼稚園型認定こども園を含む。)
			保育所 (保育所型認定こども園を含む。)
			幼保連携型認定こども園
	私立		地域型保育事業所
			認可外保育施設
			特別支援学校幼稚部
ふりがな		ふりがな	
園・所名		代表者名	
住所	〒	電話番号	
		Fax番号	
		E-mail	
参加者	園・所長等 (管理所)	() 人	計
	教員・保育士等	() 人	
	その他の職員	() 人	
			人

訪問内容

(1) 相談内容等

日時	令和 年 月 日 ()	時 分 ~ 時 分
講師		
相談項目	①子ども理解・子どもの姿の見取り方	
	②教育・保育の内容	
	③保育者の関わり方 (子ども主体の保育など)	
	④環境構成	
	⑤保育記録の取り方・活用の仕方、ドキュメンテーションの作成	
	⑥指導計画等の構想、アセスメント	
	⑦小学校との連携・接続	
	⑧配慮を必要とする子どもへの支援	
	その他 ()	
★指導・助言等の内容を簡単にお書きください。		

(2) 感想等

感想	
その他	<今後の希望等がありましたらお書きください。>

やまなし幼児教育センター 宛
電話 055-220-8143 Fax 055-220-8145
E-mail nagata-yvdh@pref.yamanashi.lg.jp

※やまなし幼児教育センター記入欄
受付番号 決定連絡日
決定連絡者

幼児教育アドバイザー訪問依頼書

センターで記入します。

1 申請者

園・所設置区分 (国公立/私立), 施設区分 (幼稚園型認定こども園等), 園・所名, 住所, 園児実員 (0歳児3人等), 依頼回数 (1回目)

2 訪問希望内容

(1) 相談内容等

相談項目 (子ども理解, 教育・保育の内容, 保育者の関わり方等), 希望する当日の流れ (10:00~10:15 日程確認等)

(2) 訪問希望日時

第1希望 (△月△日), 第2希望 (□月□日), 第3希望 (△月○日)

注 祝日を除く月曜日から金曜日の午前9時から午後4時の間において、希望の日時で調整します。
当日の打合せや振り返り、個別の相談等を希望する場合は、その時間を含めて記入してください。

※ 幼児教育アドバイザー訪問終了後、実施報告書(様式2)を1週間以内にご提出ください。

やまなし幼児教育センター 宛
電話 055-220-8143 Fax 055-220-8145
E-mail nagata-yvdh@pref.yamanashi.lg.jp

幼児教育アドバイザー訪問実施報告書

幼児教育アドバイザー訪問につきまして、終了したことを報告します。

Table with 4 columns: 園・所設置区分, 施設区分, 園・所名, 住所, 参加者. Includes details like 認定こども園△△保育園, 住所: △△市○○町□□XX-ZZ, 参加者: 7人.

訪問内容

(1) 相談内容等

Table for consultation content with columns: 日時, 講師, 相談項目. Includes a callout box: '訪問のテーマや中心的話題についての指導・助言の内容を簡単にご記入ください。'

(2) 感想等

Table for感想 (Thoughts) and その他 (Others). Includes a callout box: '今後の訪問依頼予定や、本事業に対する要望等がございましたらご記入ください。'

令和6年度幼児教育アドバイザー訪問事業 実施要項

1 目的

幼児期の教育・保育の質の向上を図るため、幼稚園・保育所・認定こども園等（以下、「園・所等」という。）からの要請に応じて幼児教育アドバイザーが訪問し、助言・支援する。

2 幼児教育アドバイザー

幼児教育アドバイザーは、専門的な知見や豊富な実践経験を有する者で、山梨県教育委員会が幼児教育アドバイザーとして依頼した者とする。

3 訪問対象 県内の園・所等

4 訪問内容

幼児教育アドバイザーが、園・所等を訪問し、園・所生活の参観を通して、幼児理解や幼児の姿の見取り方、教育・保育の内容、保育者の関わり方、環境構成などについて、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領等に基づき、助言・支援する。

5 実施期間 令和6年4月～令和7年3月

6 訪問時間

祝日を除く月曜日から金曜日の午前9時から午後4時の間において、希望の日時で調整する。一年間に3回まで訪問を依頼することができる。

7 訪問者 幼児教育アドバイザー

※やまなし幼児教育センター指導主事等が同行する場合もある。

8 実施方法

- (1) 幼児教育アドバイザーの訪問を希望する園・所等は、訪問依頼書（様式1）を作成の上、訪問希望日の3週間前を目安に、やまなし幼児教育センターに提出する。
- (2) やまなし幼児教育センターは、内容や日程等を確認し、訪問する幼児教育アドバイザーを決定する。
- (3) やまなし幼児教育センターは、訪問する幼児教育アドバイザーや日時等の決定事項を園・所等及び幼児教育アドバイザーに連絡する。
- (4) 園・所等は、やまなし幼児教育センターを通して、当日の内容等詳細を幼児教育アドバイザーと情報共有する。
- (5) 園・所等は、訪問事業終了後、1週間以内に実施報告書（様式2）をやまなし幼児教育センターに提出する。
- (6) 園・所等は、年度末に実施するアンケートに回答する。
- (7) 各アドバイザーがその役割や本事業への認識を共有するため、「幼児教育アドバイザー連絡会議」を開催する。

9 経費

訪問に係る旅費・謝金は、山梨県教育委員会が負担する。

また、連絡会議への出席に係る旅費は、山梨県教育委員会が負担する。

10 その他

- (1) 後日、訪問について聴取等を行うことがある。
- (2) 本訪問及び聴取等を通して知り得た内容は、原則として公表しない。
ただし、幼児教育・保育の質の向上に役立つ情報は、個人が特定できる内容を除き、該当園・所等の承諾を得た上で、公表する場合がある。



やまなし幼児教育センター

〒400-8510

甲府市武田4-4-37(山梨大学J号館内)

TEL:055-220-8143

FAX:055-220-8145

